

2025 年度 医事コンピュータ技能検定試験2級 合格実績

35 名合格

35 名/40 名 合格率 87.5% (全国平均 69.6%)



医事コンピュータ技能検定試験とは？

医療機関のIT化が進み、コンピュータがなければ、現在の医療活動はなりたちません。そのため、コンピュータ知識や技能は必須といえます。検定は、医療事務の知識やコンピュータ知識、レセプト作成能力が問われます。患者様にスムーズな医療活動の提供が求められるため、医療機関で働くうえで重要な資格検定のひとつです。取得することで就職活動が有利になります。

本校では、2級・3級の取得をめざします。検定合格した成績優秀者には、検定協会より成績優秀賞が授与され、毎年、表彰いただいています。



合格実績

M・M (青森県立弘前実業高等学校)
M・T (青森県立青森北高等学校)
M・A (青森県立青森西高等学校)
Y・K (青森県立八戸商業高等学校)
Y・T (青森県立八戸商業高等学校)
S・M (五所川原第一高等学校)
M・S (五所川原第一高等学校)
M・Y (青森県立三本木農業恵拓高等学校)
H・U (岩手県立黒沢尻工業高等学校)
R・K (岩手県立盛岡第二高等学校)
T・H (宮城県農業高等学校)
N・K (宮城県石巻好文館高等学校)
M・I (宮城県石巻北高等学校)
R・K (宮城県石巻商業高等学校)
K・M (宮城県塩釜高等学校)
M・K (宮城県多賀城高等学校)
Y・Y (聖和学園高等学校)
S・S (東北高等学校)
Y・S (仙台市立仙台商業高等学校)
M・Y (宮城県名取高等学校)
M・T (宮城県名取北高等学校)
M・A (宮城県大河原産業高等学校)
R・S (宮城県大河原産業高等学校)
K・Y (宮城県大河原産業高等学校)
R・M (宮城県富谷高等学校)
R・O (宮城県松島高等学校)
H・S (秋田県立大館桂桜高等学校)
R・K (秋田県立鹿角(旧:花輪)高等学校)
R・S (鶴岡東高等学校)
R・S (羽黒高等学校)
A・K (山形県立長井工業高等学校)
S・T (新庄東高等学校)
N・S (東海大学山形高等学校)
A・I (日本大学東北高等学校)
H・H (福島県立福島商業高等学校)

※合格者インタビューを、3回にわけて掲載いたします

合格者インタビュー

仙台医療福祉専門学校

M・Mさん 青森県立弘前実業高等学校 出身

●合格の秘訣は？

問題を繰り返し解き、わからない問題をなくしていき、正答率をあげることができました。わからないところはそのままにしないで、先生や友人に聞いていきました。科目担当の先生は、放課後でも優しく教えてくださいました。重要なポイントをわかりやすく解説してくれるので、理解度を高め安心して受験できました。勉強の仕方やテキストのまとめ方なども教えていただき、効率よく理解し、医療関連の知識を得ることができました。

●今後の目標は？

電子カルテ実技検定試験や、調剤報酬請求事務専門士検定試験に合格することです。

Y・Tさん 青森県立八戸商業高等学校 出身

●合格の秘訣は？

授業のなかで、検定に向け問題を解く時間を大切にして、集中して取り組みました。わからない問題は、放課後に友人と教え合い、その日のうちに理解しました。また、テキストや資料を見やすくチェックし、ノートをまとめるなど復習しやすくなるように工夫しました。科目担当の先生は、時間をとって検定のポイントを丁寧に解説してくださり、検定合格に向けて全力で応援してくださいました。

●今後の目標は？

今後受験する検定に、1回で合格することです。

S・Mさん 五所川原第一高等学校 出身

●合格の秘訣は？

自宅でも問題を繰り返し解き、ポイントをまとめ短時間で解けるように工夫しました。わからない問題のポイントをまとめるなど、検定合格できるように諦めない気持ちを持ち、取り組みました。科目担当の先生は、過去問題の解説を丁寧に、そして重要なポイントを教えてくださいました。放課後や休憩時間でも丁寧に教えてくれ、理解度を高めることができました。

●今後の目標は？

目標とする医療機関に、就職することです。



H・U さん 岩手県立黒沢尻工業高等学校 出身

●合格の秘訣は？

普段の授業時間を大切に取り組みました。先生が準備してくださった問題を何度も解き、正答率をあげました。また、インデックスを使って調べやすくしたり、資料をまとめたり工夫して勉強しました。科目担当の先生は、検定に出題されやすいところや、わからない問題について丁寧にわかりやすく解説してくれるので、理解度を高め、不安なく検定受験できました。

●今後の目標は？

目標とする医療機関から、就職内定をいただくことです。

T・H さん 宮城県農業高等学校 出身

●合格の秘訣は？

放課後の時間などを有効活用し、先生からいただいた資料を使いながら、繰り返し問題を解きました。わからない問題は、先生や友人に聞いて解決すること、何度も問題を解くことが大切だと感じました。科目担当の先生は、わからない問題があると、いつも親身になって教えてくださいました。検定合格に向けた対策も充実しているため、勉強しやすい環境だと感じました。

●今後の目標は？

電子カルテ実技検定試験、目標とする医療機関に就職することです。

R・K さん 宮城県石巻商業高等学校 出身

●合格の秘訣は？

わからない問題は、その都度、先生や友人に聞いて苦手な問題をなくしていきました。先生が検定対策問題を準備してくださるので、何度も解き、勉強しました。科目担当の先生は、放課後などに時間をとって、丁寧に教えてくださいました。理解できるまで教えてくださり、正答率があがると褒めていただき、とてもうれしく、検定合格への意欲にもつながりました。実務経験のある先生ばかりなので、的確にアドバイスしていただき参考になりました。

●今後の目標は？

医師事務作業補助技能認定試験など、目標にしている資格・検定に合格することです。



Y・Yさん 聖和学園高等学校 出身

●合格の秘訣は？

繰り返し問題を解いていきました。わからない問題は、先生や友人に聞いて、理解できるまで取り組みました。科目担当の先生は、理解できるまで丁寧に教えてくださいました。心配な箇所や疑問点があっても、先生方がとても親身になって話を聞いてくださり、検定試験に不安なくのぞむことができました。

●今後の目標は？

これから受験する検定試験すべてに合格することと、就職内定をいただくことです。

M・Yさん 宮城県名取高等学校 出身

●合格の秘訣は？

先生に準備していただいた問題を、繰り返し解くことに力を入れました。テキストにふせんをつけたり、資料をまとめたりするなど、毎日勉強していきました。科目担当の先生は、経験豊富な先生ばかりで、出題されやすいポイントを教えてくださるだけでなく、難しい問題も、理解できるまで丁寧に教えてくださいました。

●今後の目標は？

医療機関へ就職することです。これから受験する、検定試験すべて取得することです。

R・Sさん 宮城県大河原産業高等学校 出身

●合格の秘訣は？

授業にしっかりと取り組みました。わからないところはそのままにしないで、授業内で確認するように心がけました。テキストや資料を工夫し、すぐ調べられるようにしていました。科目担当の先生が、提出物を返却する際に、間違っているところを一人ひとりにとても丁寧に教えてくださいました。正答率が高い時はほめていただき、より向上心をもって検定取得にのぞむことができました。

●今後の目標は？

目標にしている資格・検定に合格することです。



H・Sさん 秋田県立大館桂桜高等学校 出身

●合格の秘訣は？

過去問題を繰り返し解いていきました。わからない問題や、間違えやすい問題は、メモをとり同じ間違いをしないように工夫しました。科目担当の先生は、わからない時には丁寧に教えてくださり、すぐ理解できました。

●今後の目標は？

就職内定をいただくことです。医師事務作業補助技能認定試験など、目標にしている資格・検定に合格することです。

R・Sさん 鶴岡東高等学校 出身

●合格の秘訣は？

過去問題を繰り返し解き、わからない問題をなくしていきました。また、テキストや資料にふせんをつけて、すぐ調べられるように工夫しました。科目担当の先生は、わからない問題を聞いた時に、わかるまで教えてくださいました。

●今後の目標は？

医師事務作業補助技能認定試験に合格することです。

A・Iさん 日本大学東北高等学校 出身

●合格の秘訣は？

先生から過去問題をたくさんいただき、繰り返し解きました。放課後に友人と教えあいながら勉強し、わからない問題をなくしていきました。科目担当の先生は、質問しやすく、親しみやすい先生です。対策問題をたくさん準備してくださり、解説もわかりやすく、安心して検定を受験できました。

●今後の目標は？

これから受験する検定試験すべて合格することです。

